

課題番号 :28 指 5

研究課題名 :日本の医療機関における、安全・安心な外国人診療環境の整備のための研究

主任研究者名 :大曲 貴夫

分担研究者名 :大曲 貴夫、忽那 智志、堀 成美

キーワード :国際診療、外国人

本研究の目的:外国人の患者を受け入れる際に生じうる障壁を取り除いて医療安全上の問題を最小限にするため、言語や文化の壁・未収金発生等の課題を整理し、課題解決の最適化を行うために必要な人材・ツール・資料・システムを開発し、開発したシステムを日本の他医療機関に展開し本邦の外国人医療の最適化を行う。

研究成果 :

### 1. 人材育成のためのプログラム開発・ツールの参加型開発と共有

国際医療コーディネーターは外国人患者受け入れの際に、初期のニーズアセスメントから各部門の対応課題の把握と調整を行い、医療通訳は患者と医療者のコミュニケーションを支える。両者は医療安全の確保と安心な医療の提供に必須の存在である。

本研究では初年度にパイロット事業として①外国人患者受け入れ体制整備のための「医療コーディネーター養成研修」、②外国人患者受け入れ体制整備のための「医療通訳養成研修」、③地域医療連携機関を対象とした「外国人医療実践講座」を開発した。

3年目は、関連諸機関と企画を共同開発し、e-learning システムを併用することにより多くの関係者が情報にアクセスできるようにした。また地域の多言語人材に参加していただき、人材育成プログラム資料の多言語化を行った。また成した資料を外部からも閲覧・ダウンロードできるウェブページを作成した。

### 2. 遠隔診療サポートシステムの構築

外国人の患者を受け入れる際に生じるコミュニケーション上の障壁を取り除き、医療安全上の問題を最小限にするため、コミュニケーション上の課題解決に必要な資料を作成し、全国の医療機関に提供し利用することが本研究の目的である。

外国人診療で日常的に遭遇しやすい臨床状況における英語を用いた診療における一般的な表現についての動画を作成した。また、保険会社等に提出するための英文診断書の書き方を解説した動画を作成した。これらの動画は e-learning として全国の医療従事者に公開した。

### 3. 診療に用いる文書の翻訳

入院診療計画書、英文診断書、中心静脈カテーテル挿入前の同意書、術前同意書など日常診療に用いる頻度の高い文書を5ヶ国語(英語・中国語・ベトナム語・ミャンマー語・ネパール語)に翻訳した。

Subject No. :28-5  
Title :Research project for the attainment of Safe and Secure Healthcare Environment for patients from abroad in Japanese Medical Institutions  
Researchers :Norio Ohmagari  
Key word :patients from abroad, international Healthcare  
Abstract :

1. Program development for human resource development and sharing of tools

When accepting foreign patients, the international medical coordinator grasps and adjusts countermeasures from the initial encounter, and medical interpreter supports communication between patients and medical personnel. Both are indispensable for securing medical safety and providing safe medical care. In this research, as a pilot project in the first year, we underwent "Medical Coordinator Training Course" for Improvement of Foreign Patient Acceptance System, "Medical Interpretation Training Course" for Improvement of Foreign Patient Acceptance System, and "The practice course of foreign medical care" was developed.

In the third year, we developed projects with related organizations and combine use of e-learning system, so that many stakeholders can access information. We also involved local multilingual human resources in this project and made multilingual human resource development program materials. We also created a website that allow medical personnel to view and download materials.

2. Construction of remote medical care support system

To eliminate communication barriers arising when accepting foreign patients and to minimize medical safety issues, preparing materials necessary for solving communication problems and providing them to medical institutions nationwide are important. In this research, we made a video about sentences/ expressions in medical practice using English in a clinical situation. In addition, we created a movie that describes how to write documents for submission to insurance companies etc. These videos were released to medical staff nationwide as e-learning.

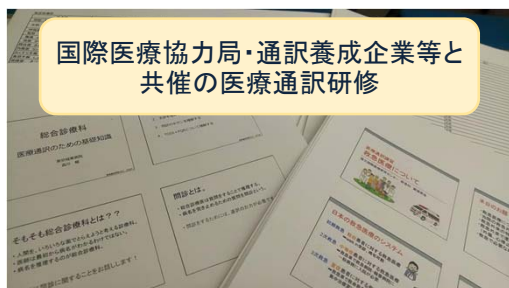
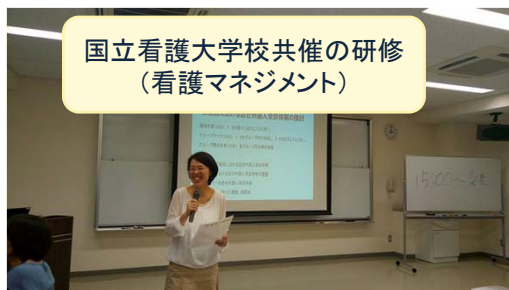
3. Translation of documents used for medical treatment

We prepared documents frequently used for routine practice such as inpatient medical care plan, English written diagnosis, consent before central venous catheter insertion, preoperative consent form etc. in five languages. (English · Chinese · Vietnamese · Myanmar · Nepali)

# 平成29年度 国際医療研究開発費「日本の医療機関における、安全・安心な外国人診療環境の整備のための研究」

## 1. 人材育成のためのプログラム開発・ツールの参加型開発と共有

- 国際医療コーディネーターは外国人患者受け入れの際に、初期のニーズアセスメントから各部門の対応課題の把握と調整を行い、医療通訳は患者と医療者のコミュニケーションを支える。両者は医療安全の確保と安心な医療の提供に必須の存在である。
- 本研究では初年度にパイロット事業として①外国人患者受け入れ体制整備のための「医療コーディネーター養成研修」、②外国人患者受け入れ体制整備のための「医療通訳養成研修」、③地域医療連携機関を対象とした「外国人医療実践講座」を開発した。
- 3年目は、関連諸機関と企画を共同開発し、e-learningシステムを併用することにより多くの関係者が情報にアクセスできるようにした。また地域の多言語人材に参加していただき、人材育成プログラム資料の多言語化を行った。また成した資料を外部からも閲覧・ダウンロードできるウェブページを作成した。




**第5回NCGM外国人診療実践講座**  
 多文化対応先進国から学ぶ  
 ～カナダ医療機関視察報告～




日時：2017年6月19日(月)19時～21時  
 会場：国立国際医療研究センター 研修棟5階大会議室


- カナダ医療機関視察報告  
 多文化を尊重した医療サービスの提供 国際診療部 二見吉  
 結核患者の水際対策と公衆衛生 呼吸器内科 松村沙知  
 緊急外来における外国人患者対応 救急科 後々木亮
- 特別講義  
 カナダ・バンクーバーの多文化外来と日本における外国人のメンタルヘルス診療の現状  
 のいるからクリニック院長 野田文隆先生

(編者) 1985年カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学に留学中より日本人、日本人のメンタルヘルスケアに関わり、2014年まで、3ヶ月に1回ずつバンクーバー総合病院内で多文化外来を行っていた。また、文化圏精神医学の視点から、在外邦人のメンタルヘルスに関する臨床研究を行っている。また、2003年より、在日外国人へのメンタルヘルスケアサービスの構築を目標に、日本で留学少人数医師が、院内メンタルヘルスの問題が起った場合のような対応行動をとるの構築を行った。2010年度より三年計画で臨床実習研究し、日本に在在する難民の生活実態調査とその福祉的支援の構築に向けた研究に取り組んだ。米国大連産科医療センタークリニックを訪問、多くの外国人の精神科診療に関わっている。

お申し込みフォーム:  事務局: 国立国際医療研究センター 国際診療部担当 二見  
 goo.gl/I0nq7N メール: ncgmic@gmail.com 電話: 03-6228-0749  
 Facebook: ncgmgm ホームページ: www.globalhealthandmedicine.org

**他の施設でも活用可能な多言語説明資料の作成と公開**  
 请协助复印在留资格卡与护照

- 1) 確認是否是本人 (因保险证上没有照片)
- 2) 为防止患者不同而造成医疗事故  
 (例: 因血型・过敏等症狀各异, 从而导致死亡事故)
- 3) 为了制作医院的统计数据  
 (本医院是被认可接纳外国人患者的病院, 有义务报告统计患者的出身国及使用的语言)
- 4) 东京入国管理局以及警察署推荐需要确认在留资格。



国際診療部 support@hosp.ncgm.go.jp

# 平成29年度 国際医療研究開発費「日本の医療機関における、安全・安心な外国人診療環境の整備のための研究」

## 2. 遠隔診療サポートシステムの構築

- 外国人の患者を受け入れる際に生じるコミュニケーション上の障壁を取り除き、医療安全上の問題を最小限にするため、コミュニケーション上の課題解決に必要な資料を作成し、全国の医療機関に提供し利用することが本研究の目的である。
- 外国人診療で日常的に遭遇しやすい臨床状況における英語を用いた診療における一般的な表現についての動画を作成した。また、保険会社等に提出するための英文診断書の書き方を解説した動画を作成した。これらの動画はe-learningとして全国の医療従事者に公開した。

## 3. 診療に用いる文書の翻訳

- 入院診療計画書、英文診断書、中心静脈カテーテル挿入前の同意書、術前同意書など日常診療に用いる頻度の高い文書を5ヶ国語(英語・中国語・ベトナム語・ミャンマー語・ネパール語)に翻訳した。

### 英語での外国人診療

これまでの成果

外国人診療における障壁の一つにコミュニケーションの問題がある。外国人診療の際にも必要とされる言語の一つに英語があり、日常的に遭遇しやすい臨床状況(発熱、腹痛、予防接種、処方希望、HIV曝露後予防)における英語を用いた診療における一般的な表現についての動画を作成した。これらの動画はe-learningとして全国の医療従事者に利用可能となる予定である。

今後の予定

英文診断書の書き方についての動画を作成する予定である。また、入院診療計画書、英文診断書、同意書など日常診療に用いる頻度の高い文書を、変更可能な形にしてインタラクティブ上からダウンロードできるようなウェブページを作成予定である。

### 请协助复印在留资格卡与护照

- 1) 携其证件本人(有保险证上没有照片)
- 2) 防止形迹不同而造成医疗事故
- 3) 因语言不通造成误解,从而造成医疗事故
- 4) 为了制作病历的统计数据

(本医院是依法可接待外国人患者的医院,有义务接待! 患者的个人信息及病历由本医院保管)

4) 东京人因语言障碍以及签证等非常需要复印在留资格卡。

お問い合わせ: 03-6363-1000 ext.222

### Need Medical Certification/Letter?

#### 关于在急救科发行医疗信息提供书(转诊单/介绍信)・诊断书

必要英文 document

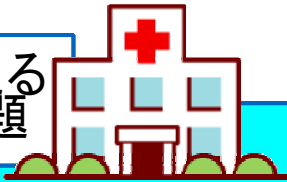
- 诊断书 medical certification
- 转诊单/介绍信 transfer letter
- 日本国费 3,240 yen
- 医疗保险/医疗保险者 insurance fee
- 日本国费 + 国费 2,700 yen
- 医保自费/自费(自费) medical information detail with images
- 日本国费 2,700 yen
- 日本国费 2,700 yen
- 交还にICDコードを同封

1000

# 遠隔診療サポートシステムの構築 本研究の概要



全国の病院が抱える  
外国人診療の課題



時間・費用・人材の不足

医療安全上のリスク

言語バリア

文化・習慣バリア

外国人患者にどう対応して良いか分からない  
外国人患者の診察方法が分からない

病院スタッフの負担増大

書類作業負荷の増大

診断書や検査説明文書が日本語しかなく  
多言語に対応した文書を準備する  
キャパシティがない

支援

①外国人診療のノウハウ  
e-learningでの公共知財の公開



②ツールの開発・提供  
外国人診療に必要な文書やマニュアルを  
多言語化して全国に提供



外国人が全国の病院で安心して  
医療を受けられるための  
医療環境の整備を支援！

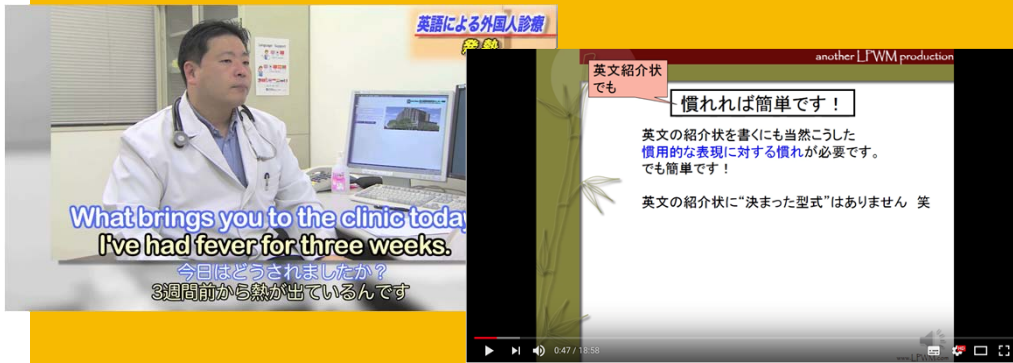
# これまでの成果

## ①e-learningの公開

日常的に遭遇しやすい臨床状況における英語を用いた診療や英文診断書の書き方の動画を作成しe-learningとして全国の医療従事者に公開している。

## ②多言語化医療文書の公開

日常診療において必要となる文書(同意書・検査説明文書など)を多言語化し、公開することで全国の病院で利用可能としている。



# 今年度の予定

## ポータルサイトの充実を図る

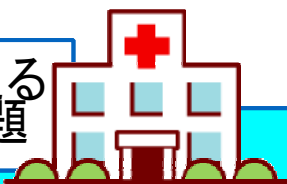
- ①動画資料の追加
- ②診療で使えるフレーズ集
- ③全国の病院からの資料共有



# 人材育成のためのプログラム開発・ツールの参加型開発と共有



全国の病院が抱える  
外国人診療の課題



時間・費用・人材の不足

医療安全上のリスク

言語バリア

文化・習慣バリア

外国人患者にどう対応して良いか分からない  
外国人患者の診察方法が分からない

病院スタッフの負担増大

書類作業負荷の増大

診断書や検査説明文書が日本語しかなく  
多言語に対応した文書を準備する  
キャパシティがない

支援

## ①人材育成のためのプログラム開発

医療通訳研修・OJT研修  
医療コーディネーター研修  
外国人医療実践講座  
→応用編:看護管理職研修

医療機関・大学・企業・非営利団体と連携

## ②ツールの参加型開発と共有

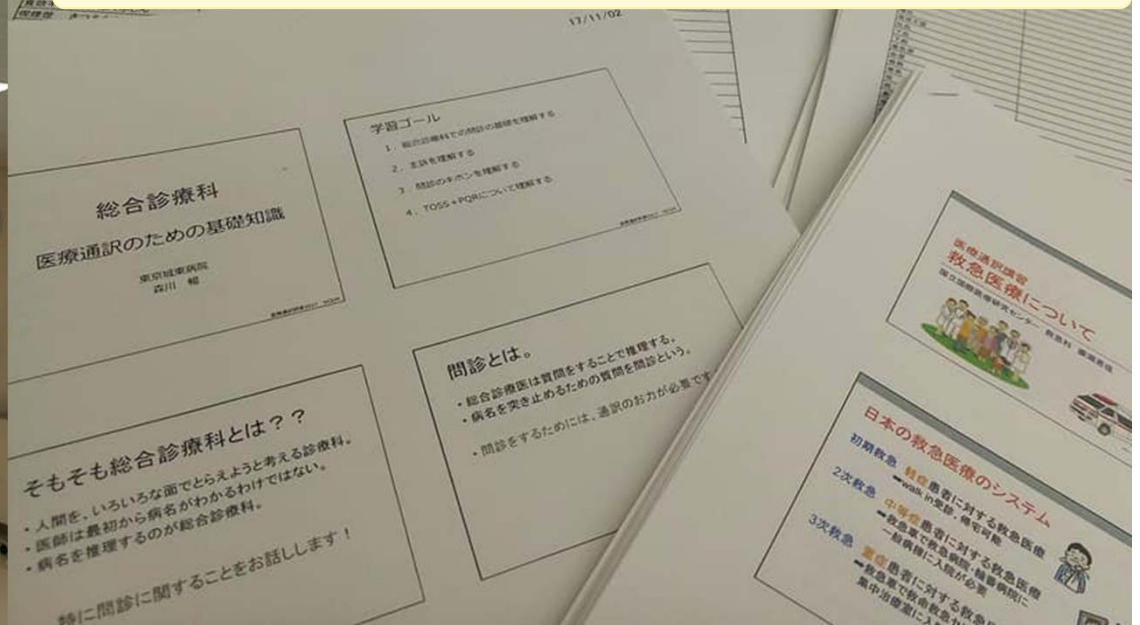
外国人患者受け入れの際に必要な多  
言語資料を登録通訳・外部専門職とと  
もに作成。  
ホームページやFacebookで紹介

外国人が全国の病院で安心して  
医療を受けられるための  
医療環境の整備を支援！

# 国立看護大学校共催の研修(看護マネジメント)



# 国際医療協力局・通訳養成企業等と共催の医療通訳研修



## カナダでの実地調査 公開報告会 (外国人医療実践講座)



### 第5回NCGM外国人診療実践講座 多文化対応先進国から学ぶ ～カナダ医療機関視察報告～



日時: 2017年6月19日(月) 19時～21時  
会場: 国立国際医療研究センター 研修棟5階大会議室

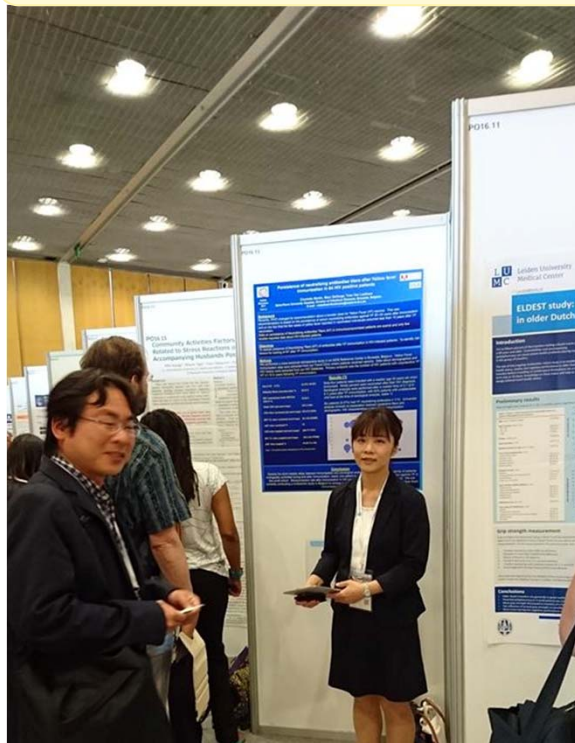
1. カナダ医療機関視察報告  
多文化を尊重した医療サービスの提供 国際診療部 二見直  
透析患者の水際対応と公衆衛生 呼吸器内科 松林沙知  
救急外来における外国人患者対応 救急科 佐々木亮

2. 特別講義  
カナダ・バンクーバーの多文化外来と日本における外国人のメンタルヘルス診療の現状  
ぬいそらクリニック院長 野田文隆先生

(略歴) 1985年カナダ・プリティッシュ・コロンビア大学に留学中より日本人、日本人のメンタルヘルスクア  
に携わり、2014年まで、3ヶ月に1回ずつバンクーバー総合病院内で「多文化外来」を行っていた。また、文化  
化精神医学の観点から、在外邦人のメンタルヘルスに関する臨床研究を進めている。また、2003年より、  
在日外国人へのメンタルヘルスサービスの構築を目指し、日本在住の少数民族が、家内メンタル  
ヘルスの問題が起きた場合どのような対応行動をとるかを調査を行ってきた。2010年度より3年計画で  
科研究が「日本に在住する難民の生活実地調査とその福祉的支援の構築に向けた研究」に取り組  
んだ。大正大学退任後はぬいそらクリニックを開業、多くの外国人の精神科診療に携わっている。

お申し込みフォーム: goo.gl/10nq7N  
事務局: 国立国際医療研究センター 国際診療部 担当 二見直  
メール: negmicc@gmail.com 電話 03-6228-0749  
Facebook: iccnegm ホームページ: www.globalhealthandmedicine.org

## 国際学会で研究発表 (二見 研究員)



## 他の施設でも活用可能な 多言語説明資料をの作成と公開



请协助复印在留资格卡与护照

- 1) 确认是否是本人 (因保险证上没有照片)
- 2) 为防止患者不同而造成医疗事故 (例: 因血型・过敏等症候各异, 从而导致死亡事故)
- 3) 为了制作医院的统计数据 (本医院是被认可接纳外国人患者的病院, 有义务报告统计患者的出身国及使用的语言)
- 4) 东京入国管理局以及警察署推荐需要确认在留资格。




国際診療部 support@hosp.ncgm.go.jp



研究発表及び特許取得報告について

課題番号： 28指5  
 研究課題名： 日本の医療機関における、安全・安心な外国人診療環境の整備のための研究  
 主任研究者名： 大曲 貴夫

論文発表

論文タイトル	著者	掲載誌	掲載号	年
外国人患者受け入れ環境整備事業拠点病院で働く看護師の外国人患者対応経験と課題の検討	二見 茜, 堀 成美	日本渡航医学会誌	9巻1号 Page12-15	2016年
休日・夜間の外国人患者対応及び医療通訳に関する基礎調査	堀 成美, 忽那 賢志, 大曲 貴夫	日本渡航医学会誌	11巻1号 Page35-36	2017年
国際化する医療・保健・福祉-インバウンド・アウトバウンド】インバウンド 外国人医療における日本国内の課題	堀 成美	小児内科	49巻6号 Page851-854	2017年
国際化社会における感染症対策 国立国際医療研究センター	大曲 貴夫	臨床と微生物	43巻6号 Page669-674	2016年
外国人患者受け入れの現場から 多文化社会NIPPONの医療 異文化研修の落としどころは共感や理解ではない	堀 成美	病院	77巻4号 Page338-339	2018年
国立国際医療研究センター病院における外国人患者受け入れ体制整備	堀 成美	東京都病院薬剤師会雑誌	67巻2号 Page62-64	2018年
外国人患者受け入れ環境整備事業拠点病院におけるインバウンド患者受け入れ体制整備の検討	二見 茜(, 堀 成美, 忽那 賢志, 大曲 貴夫	日本渡航医学会誌	11巻2号 Page100-102	2018年

学会発表

タイトル	発表者	学会名	場所	年月
外国人患者受け入れ環境整備事業拠点病院におけるインバウンド医療問い合わせの現状と課題	二見 茜, 小山内 泰代, 堀 成美, 忽那 賢志, 金川 修造, 大曲 貴夫	日本渡航医学会	岡山	2016年7月
外国人患者受け入れ環境整備事業拠点病院における国際診療部開設1年後の評価と課題	二見 茜, 堀 成美, 小山内 泰代, 忽那 賢志, 金川 修造, 大曲 貴夫	国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月

その他発表(雑誌、テレビ、ラジオ等)

タイトル	発表者	発表先	場所	年月日

特許取得状況について ※出願申請中のものは( )記載のこと。

発明名称	登録番号	特許権者(申請者) (共願は全記載)	登録日(申請日)	出願国

※該当がない項目の欄には「該当なし」と記載のこと。  
 ※主任研究者が班全員分の内容を記載のこと